

表組み

旅行パンフレットや通販のカatalog。さらには書籍や折り込みチラシなど表組みはありとあらゆる媒体に登場し、デザイナーたちを悩ませています。エクステンションを使って表組みを行っているデザイナーも多いのではないのでしょうか。

表組みはパターンは多種多様なのですがエクステンションなどはあらゆる表組みに対応しようとするあまり、個々のデザインに応じた思いのままの表を作ろうとすると逆に面倒な事があります。また、多くの表組みは簡単なものが多いのも事実だと思います。

簡単な表ならその仕事専用のAppleScriptを作成したほうがエクステンションを使うより簡単に、思いのままの表組みを行うことができます。

この章ではQuarkXPressのテキストボックスに入力されているタブ区切りの文字を読み込み、そのテキストボックスのサイズに表を作る方法を紹介いたします。

```
→A→B→C→D→E→F
スタンダード→78,000→88,000→98,000→108,000→118,000→128,000
ナイトツアー→88,000→98,000→108,000→118,000→128,000→138,000
豪華コース→99,000→109,000→119,000→129,000→139,000→149,000
無人島コース→199,999→209,999→219,999→229,999→239,999→249,999
```

このテキストボックスを選択してスクリプトを実行する。



	A	B	C	D	E	F
スタンダード	78,000	88,000	98,000	108,000	118,000	128,000
ナイトツアー	88,000	98,000	108,000	118,000	128,000	138,000
豪華コース	99,000	109,000	119,000	129,000	139,000	149,000
無人島コース	199,999	209,999	219,999	229,999	239,999	249,999

旅行パンフレットでよく見かけるような表も上のテキストボックスを選択しスクリプトを実行するだけで作成できる。実際は長体処理を後から手動で加えているが、第3章で紹介した長体処理を応用すれば自動で長体をかけることも可能になる。また、セルの連結などは出来ないが、応用次第では1発で任意の表を作成できるためエクステンションより使えるツールになる。